

授業科目名	日本語総合演習Ⅰ	科目コード	G0502P09
英文名	Integrated Japanese I		

科目区分	時代の潮流へのアプローチ科目 国際化対応科目 - 日本語科目		
------	--------------------------------	--	--

職名	教授	担当教員名	才田 春夫
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	火曜日	時限	3限目
開講時期	2年前期	授業の方法	演習
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	この科目は、日本語能力試験1級（N1）を目指す留学生が対象です。集中講義によって集中的な演習を行ない、特に文字と語彙、文法、聴解、読解の面で確実に日本語が使える力を伸ばしていきます。			
-------	---	--	--	--

キーワード	N 1	文字・語彙	聴解	読解	集中的演習
-------	-----	-------	----	----	-------

到達目標	N2のレベルを確実なものにし、N1のレベルのものを熱心に身につけること				
	この科目の集中的演習を通して、以後の自律的で継続的な学習への意欲と習慣を身につけること				

ディプロマポリシー	2.国際人としての能力（専門性の向上）
カリキュラムポリシー	留学生の日本語能力の向上

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	レベルチェックとフィードバック	
	【予習】テスト勉強（昨年使ったテキストを読んでくる）	30分
	【復習】テストでできなかった箇所の復習と暗記	60分
第2回	文字・語彙（人に関する言葉）・聴解（音声の特徴をつかむ）	
	【予習】テキストを予習	40分
	【復習】宿題を課す	60分
第3回	文法（時の表現）・読解（対比）	
	【予習】テキストを予習	40分
	【復習】宿題を課す	60分
第4回	文字・語彙（生活に関する言葉）・聴解（即時応答）	
	【予習】テキストを予習	40分
	【復習】宿題を課す	60分
第5回	文法（範囲の表現）・読解（言い換え）	
	【予習】テキストを予習	40分
	【復習】宿題を課す	60分
第6回	文字・語彙（趣味・娯楽に関する言葉）・聴解（即時応答）	
	【予習】テキストを予習	40分
	【復習】宿題を課す	60分
第7回	文法（例示）・読解（比喩）	
	【予習】テキストを予習	40分
	【復習】宿題を課す	60分
第8回	文字・語彙（旅行に関する言葉）・聴解（課題理解）	
	【予習】テキストを予習	40分
	【復習】宿題を課す	60分
第9回	文法（基準・関連・対応）・読解（疑問提示文）	
	【予習】テキストを予習	40分
	【復習】宿題を課す	60分

第10回	文字・語彙（教育と仕事に関する言葉）・聴解（ポイント理解）	
	【予習】テキストを予習	40分
	【復習】宿題を課す	60分
第11回	文法（理由）・読解（主張表現）	
	【予習】テキストを予習	40分
	【復習】宿題を課す	60分
第12回	文字・語彙（メディアに関する言葉）・聴解（概要理解）	
	【予習】テキストを予習	40分
	【復習】宿題を課す	60分
第13回	文法（結果・評価）・読解（指示語）	
	【予習】テキストを予習	40分
	【復習】宿題を課す	60分
第14回	文字・語彙（社会に関する言葉）・聴解（統合理解）	
	【予習】テキストを予習	40分
	【復習】宿題を課す	60分
第15回	文法（感想・主張）・読解（接続）	
	【予習】テキストを予習	40分
	【復習】宿題を課す	60分
第16回	模擬試験	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	熱心な参加を前提として、演習の成果（毎回の小テスト）と模擬試験によって連続的、総合的に評価します。		
使用資料 <テキスト>	プリント教材配付	使用資料 <参考図書>	辞書、ノート、普段使っている文法書を持参のこと。
授業外学修等	(1)家庭学習によって十分復習する必要があります。 (2)不確実なものは自分で調べ、確実に覚えることを求めます。		
授業外質問方法	研究室へ		
オフィス・アワー	木曜1限、435研究室		